

| | | | | |
|---|---|--|--|---|
| <p>三浦市立三崎小学校 4年</p> <p>研究テーマ 海の生き物について調べよう</p> <p>概要 「総合的な学習の時間」で、一人ひとりが興味のある海の生き物(海に関わるもの)について調べました。その中で、身近にいるのに知らない事がいっぱいある生き物について更に詳しく調べて学びを深め、見ている人にも分かりやすいようにまとめて発表しました。</p> <p>展示・発表で注目してほしいところ まとめ方を工夫したポスターはもちろん、子どもたちが、生き物の特徴について、身振り手振りなどの動きを加えて説明します。子どもたちのいきいきとした姿をぜひご覧ください。</p> | <p>三浦市立岬陽小学校 3年</p> <p>研究テーマ マグロのみひつ</p> <p>概要 本校では、三崎マグロについて調べる機会を3年生に設定し、マグロの流通や関わる人の気持ちなどについて半年間学んできました。今回の発表をまとめと位置付け、これまでの活動を振り返りながら、しっかりと一人ひとりが学びを深めることができました。</p> <p>展示・発表で注目してほしいところ 三浦に住んでいても、マグロについてほとんど知らない。そんな実態から出発した3年生。半年間、マグロの流通や関わる人の思いなど、たくさんのことを学んできました。3グループに分かれて、見学での驚きや実感を大切にしながら発表します。</p> | <p>三浦市立名向小学校 4年</p> <p>研究テーマ 青木熊吉と海</p> <p>概要 昔実在した漁師で、「三崎の熊さん」と呼ばれた青木熊吉について調べました。調べを進めていくと、臨海実験所や延縄漁法、ウミユリなどの生き物との繋がりがあつことが分かりました。どのような関係があるのか、そもそも青木熊吉とはどういった人物だったのかを発表します。</p> <p>展示・発表で注目してほしいところ 見てもらう人に少しでも伝わるように話します。臨海実験所には見学に行かせていただいたので、注目して見てほしいです。青木熊吉という人物がどんな人だったのか、知ってもらえたらと思います。</p> | <p>三浦市立南下浦小学校 3年</p> <p>研究テーマ 伝えよう! ～三浦の海の魅力～</p> <p>概要 わたしたちが住んでいる三浦には、すてきな海が広がっています。今回、社会科や総合の学習でそのすてきな海の姿をたくさん学ぶことができました。 近くの海に生息している「カナエ小鱼」、世界中の海で獲れ、三崎に水揚げされる「マグロ」など、同じ海でも、たくさん違いや発見があることが分かりました。今回は、「近くの海」と「遠くの海」の2つのグループに分かれて1年間の三浦の学習で学んだことを発表します。</p> <p>展示・発表で注目してほしいところ 身近な海の活動である磯観察やマグロの水揚げなどについて学んだことをまとめ、発表します。子どもたちが手作りした発表道具はもちろんですが、「学習したことを伝えたい」という強い気持ちにもご注目いただけたらと思います。</p> | <p>三浦市立上宮田小学校 3年</p> <p>研究テーマ 三浦の海の生き物について調べよう ～マグロ・海藻～</p> <p>概要 三浦市で有名な海の生き物であるマグロと海藻について総合的な学習の時間に学習したことを発表しました。 マグロについては、社会見学で魚市場を訪れ、実際に見たの通りたりしてまとめたことを発表します。 海藻については、「海藻おしば教室」で海藻の種類や藻の役割などについて学習したことを絵や写真を使って発表します。 最後にマグロについてのクイズを出題するので、お楽しみください。</p> <p>展示・発表で注目してほしいところ 「海藻おしば教室」で作った実際の作品やマグロの大きな模型を展示しますので、ぜひご覧ください。 最後にマグロについてのクイズを出題するのでぜひご参加ください。</p> |
| <p>三浦市立旭小学校 6年</p> <p>研究テーマ 海洋プラスチックごみの海の生き物へ与える影響 ～未来をよぶプロジェクト～(心かけ校財団様)</p> <p>概要 「海洋プラスチックごみの現状」、「海の生き物へ与える影響」、「今、私たちにできること」の三つのグループで学習を進めた。新聞、ニュース、そして「あなたの中のプラスチック」の本との出会いが子ども達をゆり動かした。実際に三浦海岸へ行って調べ、自分達が未来をよぶために何ができるのかを考えた。</p> <p>展示・発表で注目してほしいところ 三浦海岸での取材の様子の写真や実際に拾ったごみ、そして、大量のビニール袋を食べて苦しむクジラやウミガメの大きなイラスト、また、海の生き物のペープサートを用いて劇仕立てに発表する点について注目していただきたい。</p> | <p>三浦市立剣崎小学校 4年</p> <p>研究テーマ 江奈湾について知ろう</p> <p>概要 自分たちの学校のすぐ目の前にある江奈湾に行き、どんな生き物が住んでいるのかを調べた。また、その中で地層のこと、環境のことにも目を向け、どのように地層ができるのか、ごみをどのように減らすのかを調べたり、考えたりした。</p> <p>展示・発表で注目してほしいところ 情報番組形式で発表するので、それぞれのグループで調べてまとめたものを発表していく。 生き物(生き物の生態・見分けポイント)地層(剣崎で見ることのできる地層)環境(いいところ・今の課題)</p> | <p>三浦市立初声小学校 4年</p> <p>研究テーマ 海×人×ごみ ～減らそうごみ、増やそう想い～</p> <p>概要 春の遠足で、「海岸のごみを拾いたい!」と言った4年生の子どもたち。「どのようなごみが海岸に流れ着くのか!どこからごみが来るのか」という疑問を解決するために、ピーチコーミングを行ったり、初声周辺のごみ拾い活動をしている方にインタビューをしたりしてきました。</p> <p>展示・発表で注目してほしいところ 「海」の現状を知ってほしいという思いを伝えるため、初声地域を舞台に劇をします。子どもたちが自分たちで何度も話し合い、協力して創り上げました。</p> | <p>三浦市立三崎中学校 2年</p> <p>研究テーマ 多分野にわたる みうら学・海洋教育の実践</p> <p>概要 本校では、みうら学・海洋教育の目標を、三浦の豊かな自然や文化を体験することを通して、地域を愛する心情や学ぶことの意義を実感させることとされている。そこで、教科を問わず三浦や海に関する内容のレポートを書くことを夏課題とした。その中の一部を展示・発表する。</p> <p>展示・発表で注目してほしいところ 「三浦」をテーマとして全生徒がそれぞれ課題を設定してレポート作成に取り組んだ。調べた内容を自分の知識とするだけでなく、自分の考えを交えながら発信しようという意欲が感じられる。</p> | <p>三浦市立南下浦中学校 1年</p> <p>研究テーマ みうらをアピールしよう</p> <p>概要 自然、歴史、レジャーなど、みうらには様々な観光資源があります。ここでは、より多くの人にみうらの魅力を伝え、たくさんの方の観光客に来てもらうための取り組みをしました。夏休課題(レポート、海洋写真)を中心に、班ごとにみうらをアピールする作品を作りしました。</p> <p>展示・発表で注目してほしいところ 神奈川県内の市では唯一の消滅可能性都市に指定された三浦市。この課題について小中学生の時から考えてきた生徒が、レイアウトやキャッチコピーを工夫し、自分たちでみうらの良さをまとめました。</p> |